



『一月往(い)ぬる、二月逃げる、三月去る』という言葉がありますが、あっという間に2月も終わってしまいました。

3月は年度末ですね。卒業や職場の異動など、環境の変化が訪れる人も多いのではないのでしょうか。「終わりよければすべてよし」との言葉があるように、やり残したことがないかを改めて整理し、心身ともにスッキリした状態で清々しく春を迎えましょう。

皆で魅力的なまちを創る

先日、第2回ねやがわ建築賞の授賞式に出席しました。どの受賞作品も創意工夫に溢(あふ)れ、洗練された素晴らしいものばかり。「私もこんな家に住んでみたいな」「こんな建物があるまちって素敵だな」と、心が高まりました。

そんな皆さんに負けじと、本市でもまちのリノベーションを推進しています。1年前にリニューアルした中央図書館は、「日本サインデザイン賞銅賞」を受賞(ちなみに、金賞は「東京オリンピックのピクトグラム」とのこと)。また、先日は、世界的建築家である隈研吾さんが設計監修する小中一貫校の体育館が完成。本校舎の完成も待ち遠しいですね。このように少しずつではありますが、まちの魅力が高まっているのを実感しています。

これからも互いに切磋琢磨(せっさたくま)し、皆で魅力的なまちを創っていきましょう。



▲ねやがわ建築賞授賞式



▲日本サインデザイン賞銅賞の賞状



▲小中一貫校体育館

豆も気分も「舞いあがれ!」

2月3日は成田山不動尊にて、豆まきをしました。今年は3年ぶりに特設舞台が設置され、NHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」ヒロインの福原遥さんたちと一緒に豆まきを行うことができました。

久しぶりの開催とあって、当日は大変にぎわっていました。中には前日から泊り掛けで参加された人もいたとか。華のある方々が舞台に立ち、大量の豆を空にまく様子は壮観で、夜通し待った疲れも吹き飛んだのではないのでしょうか。

まさに豆も気分も「舞いあがる」、素敵な空間でした。



小さなことからコツコツと

先日、とある市民の方から「1歳の息子はゴミ収集車が大好きで、音楽が聞こえるたびに喜んで車を見えています。収集作業をしている方は、息子を見つけると絶対に手を振って愛想良くしてくれて、本当にありがたいです」とのお言葉をいただきました。

本市では、全庁で「市民サービス改革」に取り組んでいます。「改革」というと大それたことのように思われますが、実際にはこうした「小さなことからコツコツ」と積み重ねることが大切だと改めて感じたエピソードでした。

